小さなことから一歩ずつ。認め合う心・育てる想い ---あけぼの123---

あけぼの123は、どんな会社を目指し、どんな人づくりをしているのか。 「人として育てること」「個性を認め合うこと」そして、「企業としての役割を果たすこと」。 あけぼの123を知ることで、「人」として「企業」として学ぶことがたくさんあります。



あけぼの123(株)とは?

2003年4月にプロジェクトが発足し、9月にあけぼの123 株式会社が設立。翌年4月1日に曙ブレーキ工業株式会社 の特例子会社として認定され、akebonoグループの障がい 者雇用率の増加と社会に貢献しています。社名の「123」 には、「埼玉県で『一番良い会社』をつくりたい!」「家族と会社、障がい者と健常者の『二人三脚』で小さなことから一歩ずつ始める」という想いが込められています。2013年には10周年を迎え、記念感謝祭を開催しました。

あけぼの123(株)前代表取締役社長

齋藤光司さん:企業で働いている自覚をもった、責任感のある人間に育てたい

最初、信元さんに「この仕事はとにかく大変だけど頼む」と言われたときは、仕事を任せてもらえたうれしい気持ちと絶対に成功させなければという使命感を感じました。信元さんの考えとしては、そのときから「障がい者の方を人として育ててほしい」ということがあったと思います。

社員を育てていくには、指導員と親御さんも一緒に成長することが重要です。そこで、指導員にはコーチングの研修を受けてもらっています。この研修を受けると声の出し方や言葉のかけ方が変わるんです。それと、半年に1回指導員全員で『成長自慢話大会』というのをやっています。「ここの作業方法をこう工夫した」というのを見て、良いところをお互いに真似するんです。

そして、親御さんにもいろいろと協力をしてもらいます。例えば、家庭でのゴミ出しを負担に感じていた社員がいたので、親御さんに「会社で働いて疲れているから、家では休ませてあげてください」と言って、家庭での役割を減らしてもらったこともあります。また、「ちょっと熱が出たから会社を休ませたい」なんて電話がかかってくると「何考えてるの?」って言うんです。「電話をすれば、休んでもいいと思っちゃうじゃないか。我慢して来ている子だっているんです。会社ってそういう場所なんですよ」と。親御さんの意識を変えてもらいます。社員にも仕事を任されていることを自覚してもらい、社会人としての責任感を持った人間に育てたいと考えています。



あけぼの123(株) 指導員

岡田久留美さん:個性を受け入れて、認め合うことで人って成長していくんですね

指導員になったばかりのころ、手順書通りに仕事をしてくれない社員がいて「ちょっと待ってください」と作業を止めたら「いま、仕事中なんだから説教ならあとにしてくれる?」と逆に怒られてしまったことがありました。すごく一生懸命に作業をする方だったので、私はその方に指導員として認められていないんだと感じて、すごく悩んでしまった時期がありましたね。いまでは、コーチングに加えてカウンセリングの勉強もさせてもらって、社員の話を聞いて個性を受け入れることの大切さを知りました。個性を受け入れて認め合うことで信頼関係や絆ができるんです。

親御さんの中には「うちの子には、そんなことできません。ムリムリ」と言う方もいます。最初から諦め

てしまっている親御さんの思い込みを打開して、社員の可能性を認めてもらうことが大変なんですよ。でも、実際に仕事をしていくと成長が目に見えて分かりますから、親御さんも驚いているでしょうね。社員自身も「私、成長した」って自覚していますし。中には、入社当時「人間なんて大嫌い」と言っていた女子社員がいて、人との関わりも行事も嫌いだったんです。でも、その方も仕事や行事を通じて、いろいろなことを経験することで意識が変わり、クリスマスには社員全員に手編みのマフラーをこっそりプレゼントしてくれたんですよ。そういった心の変化がすごくうれしくて、感動しましたね。いまでは、社員全員が「会社に来るのが楽しい」って言ってくれるんです。

創立10周年記念感謝祭

2013.9.21

2013年に10周年を記念して開催した感謝祭にあたり、社員は休み時間を利用して手づくりの看板とリボンを制作。初めて歌う社歌を一生懸命に練習し、披露しました。また感謝祭の場において、あけぼの123 (株)が障がい者を率先して雇用し、その能力の活用に積極的に取り組んでいることを評価して、埼玉県障害者雇用優良事業所の認定証が贈られました。

あけぼの123(株)「10年の歩み」

2003年9月16日あけぼの123(株)設立

10月14日厚生棟清掃事業を開始

2004年4月1日 特例子会社に認定

2005年5月25日関係会社特例認定(グループ適用)を取得

2007 年 9 月 14 日 優秀勤労障害者として、尾崎陽子さんが埼玉県雇用開発協会会長賞を受賞

2009 年 9 月 17 日 障害者雇用優良事業所として、埼玉県雇用開発協会から表彰

2013 年 9 月 8 日 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 理事長表彰を受賞

9月18日 障害者雇用優良事業所として「埼玉県知事表彰」を受賞





書籍『会社は社会を変えられる』にあけぼの123(株)の取り組みが掲載

『会社は社会を変えられる』(プレジデント社)にて、「あけばの123」と「保専生制度」の取り組みが20ページにわたり掲載されました。2014年7月、経団連会館で開催された出版記念フォーラムに元保専生でもある岡田久留美さんがパネリストとして参加し、両取り組みの当事者として「会社の想い、広がり続ける絆~感謝と共に~」というタイトルで発表。自らの想いが実直に伝わるスピーチに会場全体が感動に包まれ、地道に進めてきたakebonoの取り組みのすばらしさを紹介しました。



アビリンピック全国大会で、下村友恵さんが金メダルを獲得

2014年11月に愛知県で開催された第35回全国障害者技能競技大会(アビリンピック)にて、下村友恵さんが見事金メダルに輝きました。この大会は障がいのある方々が日ごろ培った技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るもので、審査員からは「笑顔が良く、楽しそうに作業していたので大変好感がもてた」と講評いただき、審査点もダントツの一番と、大変光栄な評価をいただきました。また、厚生労働大臣と独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長から表彰状が授与されました。

